

本社阪神事務所

1 事務所概要

- ▶ 住所 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号
- ▶ 従業員数 クボタ345名、関連会社580名 計925名(2013年7月1日現在)
- ▶ 敷地面積 46,478.9m²
- ▶ 事務所建物



2 事業概要

▶ 事業内容及び主要製品

機械部門

農業機械、農業関連商品、建設機械

水・環境部門

上下水処理装置、各種用排水処理装置、水処理用膜ユニット、各種ポンプ、各種自動販売機

その他部門

教育・研修



コンバイン



液中膜ユニット

3 事務所変遷(沿革)

- 昭和59年(1984年) 現在地に技術開発研究所新社屋竣工
- 平成13年(2001年) 事業所名称を技術開発研究所から本社阪神事務所に改称
- 平成14年(2002年) 本社阪神事務所新社屋竣工

4 環境方針

クボタグループ環境基本行動指針

1. すべての企業活動における環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、製品開発・生産・販売・物流・サービスなど、企業活動のすべての段階で環境保全を推進します。
- (2) 私たちは、取引先に対しても、環境保全活動への理解と協力を求めます。

2. 地球環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、地球温暖化の防止、循環型社会の形成、化学物質の管理を推進することにより、地球環境保全に貢献します。
- (2) 私たちは、環境問題の解決に資する技術と製品を開発し、社会に提供することにより、地球環境保全に貢献します。
- (3) 私たちは、自然環境や生物多様性に配慮した企業活動に努めます。

3. 地域社会との共生を図る環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、環境リスクの低減に努め、環境汚染の未然防止など地域環境の保全に配慮した企業活動を推進します。
- (2) 私たちは、地域の環境美化・環境啓発活動に積極的に参画します。

4. 自主的、計画的な環境保全への取り組み

- (1) 私たちは、環境マネジメントシステムを導入し、自主的・具体的な目標と行動計画を定めて、日常の業務を推進します。
- (2) 私たちは、環境に関する啓発・教育活動を推進し、環境意識の向上に努めます。
- (3) 私たちは、ステークホルダーに対して、積極的に環境情報を発信します。
- (4) 私たちは、環境コミュニケーションを通じてステークホルダーの意見を幅広く収集し、環境保全活動に反映します。

本社阪神事務所環境方針

1. 省エネルギーを推進し、CO₂排出量の削減、水資源の節約、廃棄物の再利用・排出抑制・再資源化に取り組み、ゼロ・エミッションを目指します。
2. 環境関連法規制及び当事務所が同意するその他の要求事項を遵守し、維持します。
3. 化学物質等の適正な管理を行います。
4. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組みます。

5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2012年度			
				目標	実績	自己評価	目標未達の理由
地球温暖化防止	CO ₂ の削減	CO ₂ 排出原単位	2008	▲10%	▲14.0%	○	-
		CO ₂ 排出量	2008	▲10%	▲19.6%	○	-
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2008	▲8%	▲19.2%	○	-
	水資源の節約	水使用量原単位	2008	▲4%	▲30.3%	◎	-

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 ×:目標未達成
注)環境保全中期計画のCO₂排出量実績値の算定の際は、2008年度の単位発熱量及びCO₂排出係数を使用しています。

環境 TOPICS

「省エネ・環境貢献」を考えた設備を積極的に採用しています。



[太陽光発電システム]

●基本仕様

設置容量: 60kW

太陽電池: 薄膜シリコンハイブリッド

・「発電した電力は所内にて消費され、節電に役立っています。」



[厨房排水処理中水設備]

●基本仕様

計画汚水量: 30m³/日

処理方式: 膜分離活性汚泥方式

・「処理水は、トイレの洗浄水、所内植栽への散水に利用し、節水に努めています。」



[2号館排水処理設備]

●基本仕様

計画汚水量: 10m³/日

処理方式: 膜分離活性汚泥方式

・「実験排水を、膜分離装置にて高度処理し、下水に放流しております。環境負荷低減に努めています。」

6 環境トピックス

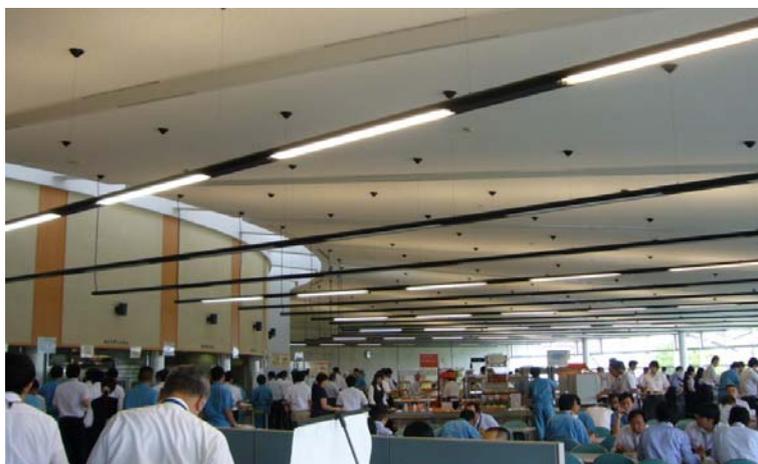
節電対策の実施

- ① 執務室の照明一部取り外し



- ② エレベーターホール・廊下の照明一部取り外し

- ③ 食堂の照明を天候に合わせて点灯(晴天時:1/3点灯、曇・雨天時:2/3点灯)



- ④ 広告灯及び外灯の一部通年消灯

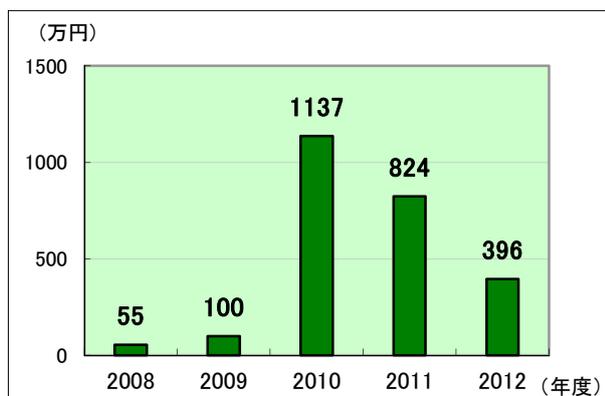
- ⑤ エレベーターホール、廊下の空調停止

7 環境会計

① 環境保全設備投資

2012年度： 396 万円

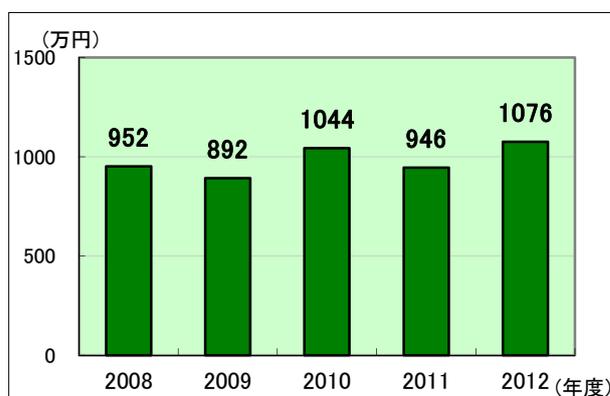
- ・3号館南側窓に遮光フィルムを貼ることにより空調効率を高めました。
- ・老朽化した3号館の個別空調を更新し、空調効率を高めました。



② 環境保全費用

2012年度： 1076 万円

事業所内グリーンメンテナンス、排水処理設備メンテナンス、廃棄物処理費用を含んでいます。



③ 環境保全効果

効果の内容	効果	2011年度	2012年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	35,467	34,308	▲ 1,159	96.7%
	水使用量(m ³)	20,442	17,870	▲ 2,572	87.4%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)(エネルギー起源)	1,395	1,594	199	114.3%
	SO _x 排出量(t)				
	NO _x 排出量(t)				
	ばいじん排出量(t)				
	PRTR対象物質排出・移動量(t)				
	廃棄物排出量(t)	58.6	62.3	3.7	106.3%
廃棄物埋立量(kg)	1,164	1,962	798	168.6%	

④ 経済効果

2011年度： 722万円

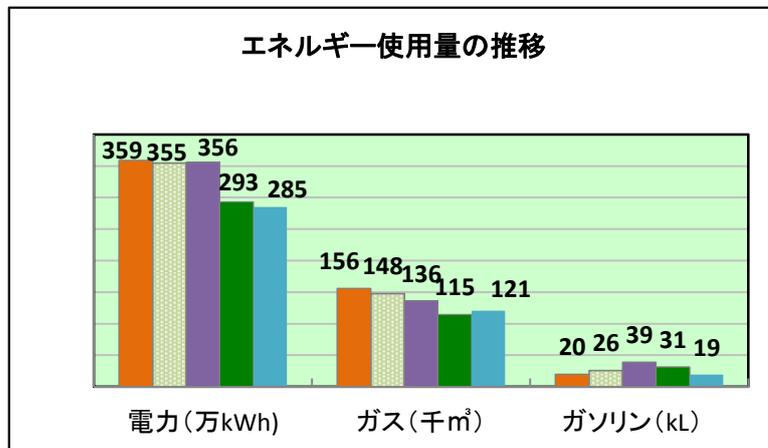
分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	節電対策の実施 ①エレベーターホール・廊下の空調停止 ②照明の一部取り外し、広告灯及び外灯の一部通年消灯	1099 万円
	水のリサイクル「中水の利用(トイレ洗浄及び緑地散水用)」	287 万円
	合計	1386 万円

8 環境パフォーマンス

① 地球温暖化の防止

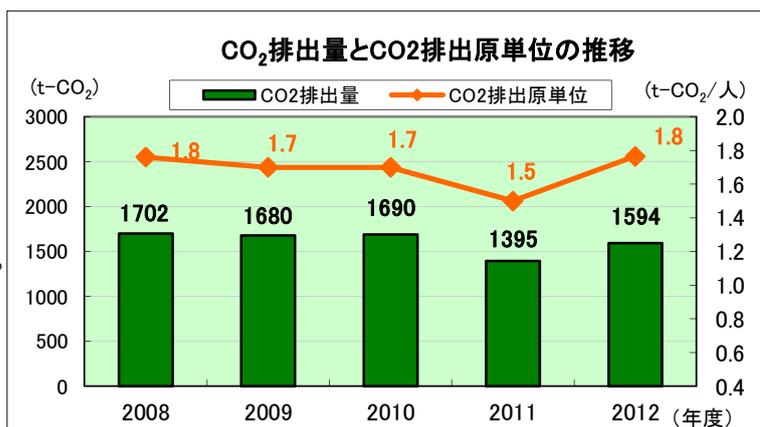
省エネルギー活動

電力需給状況が厳しいなかで節電対策を強化した結果、2012年度は対前年度比2.8%の節電を達成しました。



CO₂排出量の削減

エネルギー使用量を昨年度比削減しましたが、原発停止による電力CO₂排出係数の増加によりCO₂排出量は増加しました。



注: CO₂原単位=CO₂排出量÷従業員数

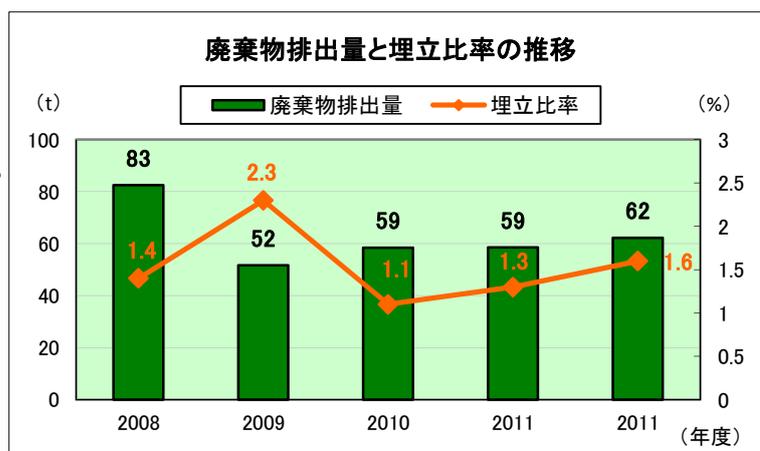
② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

一般廃棄物(紙ごみ等)の増加により排出量を削減することができませんでした。

ゼロ・エミッション化

リサイクル処理可能な中間処理業者の選定等埋立比率の低減に努めました。比率を下げることはできませんでした。



注: 埋立比率(%)=(直接埋立量+中間処理後最終埋立量)÷(有価物量+廃棄物排出量)

9 環境コミュニケーション

地域の皆様との交流・美化活動

① 名 称 尼崎市小田地区わがまちクリーン運動

日 付 2012年6月5日

参加人数 16名

地域清掃活動の実施



② 名 称 クボタ eプロジェクト活動

日 付 2012年7月26日、7月27日、8月9日

参加人数 209名

地域清掃活動の実施(尼崎市「タやけクリーンキャンペーン」への参加)



本社阪神事務所

10 サイトデータ

▶ INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	884
----------	---------	-----

水使用量	万m ³	1.79
------	-----------------	------

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,585
---------------------	-------------------	-------

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				特定施設なし	測定値
下水道		pH	—	—	6.70
		BOD	mg/l	—	1.38
		COD	mg/l	—	—
		SS	mg/l	—	1.83

廃棄物排出量	t	62.3
埋立比率	%	1.6